

シークワードに挑戦

提供/道の駅つるた・鶴の里あるじゃ

左下の文字からタテ・ヨコ・ナナメにかくれている青森県の市町村を6つ見つけてね!!

し	ぶ	や	む	わ
う	せ	ん	つ	さ
ら	ら	ら	な	み
い	さ	わ	い	ま
り	も	お	あ	お

【シークワード3月号の解答】

ぎ	な	や	た	い
ふ	か	の	み	く
ち	が	さ	と	ふ
な	わ	な	お	き
り	も	お	あ	お

【3月号の答えは】

おおさか・ながの・さが
かがわ・ぎふ・ふくい でした。

【おめでとう! 3月号当選者】

- ・P.Nつる子さん (相原町)
- ・安田礼子さん (相原町)
- ・田村寿章さん (廻堰)
- ・坂本海璃さん (相原町)
- ・石岡慶子さん (松倉)

応募方法

ハガキに答え、住所、氏名(未成年の方は保護者名も記入)、年齢と広報に対するご意見やご感想などを書き添え、総務課まちづくり班まで(あて先は最終ページ下に記載)お送りください(※5月7日まで必着)。イラストなども大歓迎です。正解者の中から抽選で、鶴の里あるじゃより好きなパンや大豆・米製品が買える「大豆・米加工施設商品券500円分」を5名さまにプレゼントします。



世界の国々や文化を紹介するワールズ・ウィンドウ、案内役は国際交流員リサアン・カワチさんとエイミー・タッペンデンさんです。

皆さんこんにちはエイミーです。今月はニュージーランド、オーストラリア、南アフリカで行なわれているプロラグビーのトーナメントについて紹介します。

ラグビーは1823年にイギリスで生まれたスポーツです。1870年にニュージーランドに導入され、それ以来ニュージーランドの国技となりました。ニュージーランドの代表チームの名前は「All Blacks」(オールブラックス)です。ラグビーワールドカップでは1987年と2011年に優勝し、現在は世界で一番強いチームとされています。1996年には、ニュージーランド、オーストラリアと南アフリカの3か国計12のクラブチームが14週間かけて試合をする「Super Rugby」(スーパーラグビー)というプロラグビーのトーナメントが始まりました。

このスーパーラグビーは1996年から徐々に人気上昇し、2006年にはさらに2チームが加わり、「Super 14」(スーパーフォーティーン)と名前が変わりました。2006年に新しく加入した2チームはオーストラ



リアの西側にあるパースの「The Western Force」(ザ・ウェスタン・フォース)と南アフリカの「Central Cheetahs」(セントラル・チータース)でした。2011年からはオーストラリアメルボルンのチーム「Melbourne Rebels」(メルボルン・レブルズ)が新しく加入し、「Super 15」(スーパーフィフティーン)になりました。わたしの出身地クライストチャーチのチームは「The Crusaders」(ザ・クルセイダース)と言います。クルセイダースは南島の北部地方を代表するチームで、毎年1月からクルセイダースの選手が集まり2月下旬から始まるスーパーラグビーの試合のために1月(真夏)からトレーニングを行います。ニュージーランドのラグビーシーズンは2月下旬から11月中旬までです。本来ラグビーは真冬に試合をするものでしたが一年中さまざまなトーナメントがあるため、夏から始めると全大会を行うことが不可能になるので2月の下旬から始まります。ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカのラグビーシーズンは必ずスーパーラグビーから始まります。21週の間、毎週金、土、日曜日に試合があります。もちろん試合を見たい人はスタジアムへ足を運び生で見ることができます。また全試合はテレビでも放送されます。

クルセイダースには優秀な選手が多くスーパーラグビーでは7回優勝しました。1998年、1999年、2000年、2002年、2005年、2006年と2008年に優勝しました。2003年、2004年と2011年は惜しくも2位でした。クルセイダースの中には世界一の選手もいます。中でも一



△クルセイダースを応援するファン



△リッチー・マコー

番有名な選手はRichie McCaw(リッチー・マコー)とDan Carter(ダン・カーター)です。リッチー選手の背番号は7番でカーター選手は10番です。ラグビーではジャージについている番号がその選手のポジションを示しています。1番から8番まではフォワードと呼ばれ、「前」を意味し、体形ががっしりした選手たちです。9番から15番まではバックスと呼ばれ「後ろ」を意味し、ほとんどが足の速い選手たちです。



△ダン・カーター

ニュージーランドではスーパーフィフティーンの選手たちと国を代表するオールブラックスの選手たちはヒーローのように憧れられています。オールブラックスの選手になる夢を持っている子どもたちも多く、オールブラックスの選手になればヒーローにもなれるとも思われています。国民の目から見ても、オールブラックスの選手はニュージーランドの理想の男性と考えられ、男前の選手はモデルとしても活躍しています。カーター選手は「下着ブランド」のモデルを8年間しています。

ニュージーランドのスーパーフィフティーンの選手と、そのチームから選ばれてオールブラックスになる選手は強く勝利するのが当たり前です。負けないヒーローのように思われているので、それも憧れられる理由の一つかもしれません。

日本ではスーパーフィフティーンの試合は行われませんが、時々オールブラックスは日本で試合をすることがあります。オールブラックスの試合は迫力があるのでぜひ機会があれば皆さんご覧になってください。